

## ごあいさつ

皆さまには日ごろより東京スター銀行をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。役職員一同厚く御礼申し上げます。

2019年3月期上半期におきましては、マイナス金利政策など非常に厳しい金融環境が続く中、当行の2019年3月期中間連結決算では、経常利益48億円、中間純利益35億円を計上する結果となりました。銀行単体でのコア業務純益は43億円となり、前年度中間期比31.9%の増益でした。また、貸出金残高は1兆6,839億円(前年度末比3.2%減)、預金残高(譲渡性預金を含む)は2兆2,171億円(前年度末比0.9%減)となりました。銀行の健全性を示す代表的な指標である自己資本比率は9.62%と、海外営業拠点を有しない銀行(国内基準行)として求められる4%を大きく上回り、極めて健全な水準を維持しています。

さて、当行では昨年度より、中期経営5カ年計画をスタートしております。2年目となる2018年度においても引き続き、①「持続的成長のための仕組み作り」、②「生産性の改善」、③「成長を支える組織運営」、④「原動力としての人材育成」の4点に注力しています。

まず、①「持続的成長のための仕組み作り」として、個人のお客さまには、一生涯の資金繰りを展望した資産形成のサポートを行っています。お客さまの老後の資金繰りについて見通しをつけていただくための「人生の見通しセミナー」を全国各地で開催し、つみたてNISAや外貨積み立てなどの長期積立分散投資と、ご自宅を活用して資金調達するリバースモーゲージを組み合わせたコンビネーションモデルによる資産形成をご提案しています。また、当行店舗「ファイナンシャル・

ラウンジ」や2017年度から展開したご相談業務に特化した小型店舗「アドバイザリープラザ」では、各世代のお客さまのお金に関する不安や悩みに一緒に向き合い、解決するためのお手伝いである「お金の未来診断」を行っています。

法人のお客さまには、徹底的なお客さま理解に根差したテラーメイドの金融ソリューションをご提供しています。当行の高い専門性を生かしたLBOファイナンス、プロジェクトファイナンスや金利・為替および商品市況のリスクヘッジのためのデリバティブ案件などお客さまの事業成長をサポートする最適な金融ソリューションをご提案しています。また、当行の親会社である台湾のCTBC Bankが有する幅広い海外ネットワークを活用し、海外事業ならびにインバウンド事業など、お客さまのクロスボーダー展開のサポートも行っていきます。



さらに、リバースモーゲージやデリバティブ分野、シンジケートローンの組成など差別化されたプロダクトの提供により地域金融機関との連携を推進し、顧客基盤を拡大しています。

つぎに、②「生産性の改善」としては、経費最適化プロジェクトで、店舗計画やシステム投資などを見直し、経費削減に努めています。あわせて、社内手続きの簡素化等、業務プロセス改革にも取り組んでいます。また、一人当たりの顧客取引収益を拡大するために、業務の役割分担の見直しやスキルアップを行い、行員の当事者意識をさらに高め、現場力を強化し、さらなる生産性の向上に取り組んでいます。

そのほか、個人のお客さま向けビジネス、法人のお客さま向けビジネスともに、CRMを最大限活用して総合取引を推進しています。

③「成長を支える組織運営」としては、当行は親会社CTBC Bankにあわせ国際財務報告基準(IFRS)での管理も行っています。今年度は、部門ごとのIFRSでの管理態勢を整備し、資本効率の算出・分析を進めています。また、CTBC Bankの信用格付け制度を導入することで、リスク管理の高度化をさらに進めました。

当行は、親会社CTBC Bankの持つさまざまな経営資源を活用して、なお一層お客さまのお役に立つことを目指しています。2018年9月より法人取引の専任担当者を台湾のCTBC Bank本社に常駐させることで、お客さまへのスピーディできめ細かいサポートを台湾でもご提供することが可能になりました。

最後に④「原動力としての人材育成」ですが、新たに次世代リーダー研修制度を開始いたしました。

本研修では、「経営者としての基盤の形成」、「経営的視座・全社的視点で考え実行する力」、「リーダーの土台となる知識や行動力」を習得する3つのプログラムを用意し、将来、当行を牽引する人材の育成を行っています。また、新入行員の教育プログラムをさらに充実させ、課題解決に向けてPDCA(仮説⇒行動⇒検証⇒改善)を回転させ、経験学習サイクルを自ら回せる人材を育成し、早期戦力化を図っています。そのほか、部門横断の行内セミナーの拡充、各種CEO表彰制度の導入による好事例の見える化を実施しています。

当行は、これからも、お客さまのサポーターとして、お客さまに最大限お役に立つために、常に顧客目線で物事を考え、革新的で付加価値の高いサービスを提供し続けていけるように、役職員全員が不断の努力を続けてまいります。

皆さまには、これからの東京スター銀行の変革・成長にご期待いただきますとともに、ますますのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2019年1月

代表執行役頭取CEO

佐藤 誠治